


特定非営利活動法人 日本免疫学会
2023 年度 前期 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	角田 樹也	会員番号	0036637	
申請者の所属・職名	東京理科大学 生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門 博士課程2年			
出席会議名	AACR Annual Meeting 2023			
発表論文タイトル	T cell receptor repertoire analysis revealed tissue tropism of tumor-reactive T-cell clones in cell cycle reporter mice			

実施結果

この度は、Tadamitsu Kishimoto International Travel Award を賜り、誠にありがとうございます。岸本忠三先生をはじめ、選考委員、事務局の先生方に、心よりお礼を申し上げます。

私は、4月14日～19日にかけて行われた AACR Annual meeting 2023 に参加いたしました。本学会には世界中から著名な先生方が参加しており、海外の最先端の研究を学ぶ良い機会となりました。特に海外では挑戦的な臨床試験も多く、本学会では 240 件を超える臨床試験の結果が報告されていました。中でも、新規バイオマーカー主導の分子標的治療試験などの新たなアプローチが多数報告されており、がん治療における最新の動向を知ることができました。

私の発表は、“T cell receptor repertoire analysis revealed tissue tropism of tumor-reactive T-cell clones in cell cycle reporter mice”というテーマで行いました。

腫瘍反応性 T 細胞は認識抗原や親和性の異なる多種多様なクローンにより構成されており、各クローンは異なる抗腫瘍機能を示すことが知られています。本研究では、細胞周期レポーター Fucci トランスジェニックマウスを用いて皮下腫瘍モデルを作成し、腫瘍と腫瘍所属リンパ節について増殖期および休止期の T 細胞受容体を解析することにより、腫瘍所属リンパ節で増殖率の高いクローンが抗腫瘍応答に大きく寄与していることを明らかにしました。

現地では様々なバックグラウンドを持つ研究者と議論を行う機会が得られました。その中で新たに気づく点も多く、今後研究を進展させていく上で非常に有意義な機会となりました。

最後になりましたが、本賞へご推薦いただきました松島綱治先生、本研究の遂行にあたりご指導いただきました上羽悟史先生、実験にご協力いただいた多くの先生方に心より感謝申し上げます。

得られた知見を活かし、今後も研究を進展させると共に、がん治療の発展に貢献できるよう精進してまいります。引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。